

平成26年度 学校評価実施報告書

学校名(西院幼稚園)

1 平成26年度 重点評価項目

・子どもの成長を共に喜び合える子育て支援の充実

・協働活動の中で育つ人権感覚

2 1回目評価

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					自己評価		学校関係者評価		
					評価日	平成26年10月3日	評価日	平成26年10月18日	
					評価者・組織	評価委員会	評価者(いずれかに○)	○学校運営協議会 学校評議員	
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・ 各種指標	アンケート結果・ 各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学 校評議員による改 善に向けた支援策
1	確かな学力	主体的に遊ぶ保育 親子で絵本に親しみ、言葉に対する豊かな感覚を人の話を聞く態度を養う。	子ども自らがやりたい遊びを選んで遊べる保育の実践 「親子で絵本めざせ100冊ノート」の活用と毎週の絵本貸出 遊びの中でのコミュニケーション力の向上。 学級活動で人の話を聞く機会を設ける。	幼児記録・エピソード記録・「子どもは自分から遊びを見つけて元気に遊んでいる」 絵本100冊達成の状況 「家庭では絵本を親子で楽しんでいる」 幼児記録・エピソード記録・全園児の集会の姿いとらえている。	⇒	・子どもが主体的に遊ぶ保育については教員の努力の結果が出ている ・絵本に親しむことについても保護者啓発が十分にされ、効果が上がっている。 ・保育の中で人の話を聞く必要性を感じる機会が少ない。学級活動や遊びの中で友達言葉を交わす活動も少ない。	⇒	・絵本に関する保護者の意識が上がってきている。幼稚園でしているノーテレビノーゲームデーとも関連していることだと思う。子どもたちにとって何が大切なのかゲームやスマホではなく生の体験、親子のかかわりが大事と思う。	・学校運営協議会の活動と幼稚園の教育圧胴との関連を今後理事会で探っていく。
2	豊かな心	自己発揮・自己充実できる人間関係 支え合い・認め合う集団づくり 言葉を交わすことで人との関係を築く喜びを味わう	自らの力を十分発揮できる運動会や生活発表会の実施 協働活動の中でそれぞれの良さを認めていく保育の実践 「西院幼稚園のおやくそく」の徹底	幼児記録・エピソード記録「子どもはいろいろな行事を楽しんでいる」 1「子どもは友達や命あるものに思いやり気持ちをもっている」 2「先生は子どもの良いところを認め励ましている」 幼児記録 子どもは「先生や友達とあいさつをしている」	⇒	・保護者アンケートからは子どもは園の行事等で自己発揮・自己充実ができていると評価されているが、子どもの姿から評価検討したい。 ・個々人を認めてくことは十分にできているが、それを学級全体に返していない。協働活動を通してさらに目指すべき子どもたちの支え合い・認め合う関係を築いていく。 ・あいさつについては保護者啓発も重要。	⇒	・何かができることだけでなく、子どもの豊かな心を育てることは幼稚園の大きな役割と思う。 ・あいさつについては今後も幼稚園で子どもや保護者に啓発していったほしい。	・地域の人間として、子どもたちを見守り、挨拶等の声掛けをしていく。 ・おやじの会などの活動も支援していきたい。
3	健やかな体	自ら身体を動かそうとする意欲を育てる 保護者と連携を密にし一人一人の自立を促す	夏季プールの実施 運動会の競技内容の検討 休日参観・交通教室・親子で公園清掃の取り組み	幼児記録・エピソード記録 保護者からの聞き取り マラソンカードの状況 保護者からの聞き取り 「保護者とよく連携し、子どもの成長を支えている」	⇒	・幼児期に体を動かして遊ぶことの必要性を保護者に啓発するとともに、園内の環境をさらに見直していく。 さらに保護者との連携を進めていく。	⇒	・幼児期に体を動かすことの大事さを保護者に啓発していかなければならない。 ・夏休み中のちびっ子プールは地域と幼稚園とが連携して行う催しなので、ぜひたくさん子どもたちに利用してほしい。	・民生委員さんの連携をより密にして、ちびっ子プールの活用を考えていく。 ・公園をより活用しやすいように地域の方の理解や安全対策に協力したい。
4	独自の取組	園舎内外の環境の再構成 子どもの成長を見極めた子育て支援	自然環境を取り入れた保育実践 遊戯室の巧技台の環境 未就園児・在園児の親を対象としたほっこり子育てひろばの実施 一人一人の発達に応じた支援	「園や先生は子どもが楽しんで遊べる環境づくりに努力している」 ほっこり子育てひろばのアンケート 「一人一人の発達に沿った援助がなされている」	⇒	・園舎内外の環境については教員が子どもの遊びの様子をよく見て努力している。 ・ほっこり子育てひろばについては、保護者同士の話し合いを引き出す難しさがある。 ・要支援の子ども割合が多く、試行錯誤しているところもある。	⇒	・右京で唯一の公立幼稚園が果たす役割は大きい。保護者を育てていくことも公立幼稚園の大きな役割目と思っている。	・環境等で課題に思うことは相談しながら改善したいいきたい。 ・未就園児や在園児の子育て支援については民生委員との連携をより図っていくことと、預かり保育を保育補助者として支援していく。